



「石綿障害予防規則が改正されました（令和5年10月1日完全施行）」

日頃は弊社アーバンタイムズをご愛顧頂き誠に有難う御座います。
今回のアーバンタイムズは、**石綿障害予防規則が改正**について取り上げたいと思います。

石綿（アスベスト）による健康障害の予防対策の一層の推進を図るため、平成17年（2005年）に石綿障害予防規則（石綿則）が制定され、これに基づく措置が事業者等に義務付けられています。しかしながら、石綿則で義務付けられている作業開始前の石綿含有の有無の事前調査など、建築物等の解体・改修工事を行う際に必要な措置が実施されていない事例が散見されたことから、解体・改修工事における石綿ばく露による健康障害を防止するため、令和2年（2020年）7月に石綿則が改正され、令和2年10月1日から順次施行されています。

<改正のポイント>

- ・工事開始前の石綿有無の調査（工事対象となる全ての部材について、石綿含有の有無を設計図書などの文書と目視で調査し、調査結果を3年間保存）
 - ・労働基準監督署への工事計画の届出拡大（石綿が含まれている保温材等の除去等工事の計画は14日前までに労働基準監督署に届出）
 - ・除去工事における規制強化（除去工事が終わって作業場の隔離を解く前に、資格者により石綿等の取り残しが無いことを確認）
 - ・石綿含有仕上塗材・成形板等の除去工事に対する規制（石綿が含まれている成形板等の除去工事は、切断、破碎等によらない方法で行うほか、石綿が含まれている仕上塗材をディスクグラインダー等を用いて除去する工事、石綿が含まれているけい酸カルシウム板第1種を切断、破碎等する工事は作業場の隔離が義務付け）
 - ・記録の保存（石綿が含まれている建築物、工作物又は船舶の解体・改修工事は、作業の実施状況を写真等で記録し、3年間保存すること）
 - ・一定規模（解体工事の場合は解体部分の延べ床面積80㎡、改修工事の場合は請負金額が100万円）以上の解体工事の場合、事前調査の結果を労働基準監督署に電子システムで報告する必要があります（令和4年（2022年）4月から）。また、発注者から施工者への配慮義務も課せられました。
 - ・解体・改修工事を行う建築物等の石綿（アスベスト）の使用状況等（設計図書など）を施工業者に通知するよう努める必要があります。
 - ・解体・改修工事を行う建築物等に石綿（アスベスト）が使われていることが明らかとなった場合には、石綿（アスベスト）除去等の工事に必要な費用、工期、作業の方法などの発注条件について、施工業者が法令を遵守して工事ができるよう配慮する必要があります。
- 建築物等の解体・改修を行う事業者には、法令により、石綿（アスベスト）の含有の有無の事前調査を行う義務があります。このため、解体・改修工事を事業者が発注する場合には、石綿（アスベスト）の事前調査費用が計上されていることを確認してください。

筆者：張ヶ谷

借りたいリスト(問い合わせ物件の一部)			* . 先月の問い合わせ件数 94件		
用途	敷地	建物	地域	条件	入居日
工場(食品スーパー関連)	車両数台分	500坪	都内23区	相場	即検討
倉庫(音響関連)	車両数台分	300坪	江東区湾岸地域	相場	即検討
倉庫(水処理関連)	車両数台分	300坪	関東湾岸地域	相場	即検討
倉庫(イベント制作関連)	車両数台分	200坪	関東湾岸地域	相場	即検討
倉庫(宅配関連)	車両数台分	100坪	江東区湾岸地域	相場	即検討
倉庫(家具関連)	車両数台分	100坪	関東湾岸地域	相場	即検討
駐車場(建機レンタル関連)	400坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討
資材置場(産廃関連)	300坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討
駐車場(運送関連)	300坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討
駐車場(レンタカー関連)	100坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討

異常気象 1

今年暑い夏でした。秋を迎えても残暑が厳しく、10月に入ってようやく「猛暑日」から開放され、気象庁は、「過去126年間で最も暑い夏」になったと発表しました。統計上の「夏」とされる6月から8月までの3ヶ月間で、全国の平均気温はこれまで最も暑かった2010年の平均気温を1.08度上回り、平年より1.76度高くなったとしています。全国の猛暑日は、これまで最多だった2018年の6487日を200日ほど超え、全国で延べ6691日となり、数字の上でも異常に暑い夏でした。

気象観測点の半数以上の85地点で観測史上1位を更新し、石川県小松市や福島県伊達市・柳川では初めて40度を記録しました。

今年の猛暑は日本だけでなく、全地球規模で暑くなり、国連のグテーレス事務総長は、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と警鐘を鳴らしています。

WHOは、「今後5年間で地球の温度が産業革命以前と比べて一時的に1.5度上昇する確率が5割を超えた」と発表しました。その意味では、今年の暑さはまだ序の口で、これからも暑い夏を覚悟しなくてはならないでしょう。地球の平均気温が0.1度上がる毎に、熱波や干ばつ、森林火災など、全地球的に極端な気象異常現象の規模が大きくなり、「このままだと近い将来、気候変動が今以上の大惨事を引き起こす可能性がある」と述べています。

管理物件のテナント紹介 第221回

東京グラスロン株式会社様

東京グラスロン株式会社は、創業50年を迎える企業で、断熱材・防音材の総合商社です。首都圏広域に配送可能な物流ネットワークを構築しており、豊富な在庫、迅速な配送でお客様のご要望に素早く対応させて頂いております。

取り扱い商材は、旭ファイバーグラス株式会社様のグラスウール製品、ニチアス株式会社様のロックウール製品の卸売販売を中心に断熱材・防音材・関連副資材と豊富に取り揃えております。また、東京・千葉・埼玉・神奈川の首都圏4箇所の配送拠点から、毎日迅速なデリバリーを展開しております。

これからもお客様がご入用製品を、いつでも、どこでも、必要な量だけお届けできる体制を整え、皆様のニーズにお応えして参ります。又、12月より、新木場の地に営業所を開設いたします。

◆江東区新木場1-4-5 ◆2023年12月入居 ◆TEL：03-5823-5270 小野口